

つばきいりょう

No.140 12月号 (R3)



冬が来た
きっぱりと冬が来た
八つ手の白い花も消え
公孫樹の木も葉になった
きりきりと
もみ込むやうな冬が来た
人にいやがられる冬
草木に背かれ、
虫類に逃げられる冬が来た
冬よ
僕に来い、僕に来い
僕は冬の力、冬は僕の餌食だ
しみ透れ、つきぬけ
火事を出せ、雪で埋めろ
刃物のやうな冬が来た

高村 光太郎『道程』より

冬至 (12月22日)

冬至とは北半球において太陽の位置が1年で最も低くなる日で、日照時間が最も短くなります。1年で最も日が短いということは、翌日から日が長くなっていくということ。中国や日本では、冬至は太陽の力が一番弱まった日であり、この日を境に再び力が甦てくることから、陰が極まり再び陽にかえる日という意の一陽来復 (いちようらいふく) といって、冬至を境に運が向いてくるとしています。つまり、みんなが上昇運に転じる日なのです！



味のあることば

・初めて会社に勤めると誰しも一番最初に交際するのは感じのよい人です。しかし私はこれに反対で、まず感じの悪い人に勇敢にぶつかっていくことです。こういう人は打ち解けると、感じのいい人より親切で、本当の味方になってくれるものです。

小林 一三

・会社の為に働くな。自分が犠牲になるつもりで努めたり、物を作ったりする人間がいるはずがない。口先で結構なことはいくらでも言えるが、どうせ人間は自己保存から抜けられない。だから会社のためなどとカッコいいことを言わずに、自分のために働け。

本田宗一郎

12月行事

1日(水)	全校集会
4日(土)	オープンキャンパス⑪
11日(土)	一般入試②, 特奨・推薦入試②, 楊特推③
12日(日)	診療報酬請求事務能力認定試験
20日(月)	学生交流会②
21日(火)	終講式
22(水)～1/7(金)	冬季休業



耳に痛いことば

- ★親は子供の奴隷になってはならない。子供に振り回される親は結局は子供に捨てられる。
- ★太陽は背を向けている人にも、どんな人にも、平等に燦々と光を与える。
- ★世話をやきすぎると、依頼心の強い子供になる。
- ★問題児は、すべてお茶碗の中にご飯粒を残している。
- ★愛として感じられなかった説教は、やめた方が賢明である。
- ★山の頂上は一滴も水を湛えることはできない。しかし盆地は満々たる水を湛えることができる。



今日がある 明日がある あたり前だけどすごいこと！